



クイックガイド

ネットワークマスタ シリーズ MT9090A メインフレーム MU909060A シリーズ ギガビットイーサネット モジュール

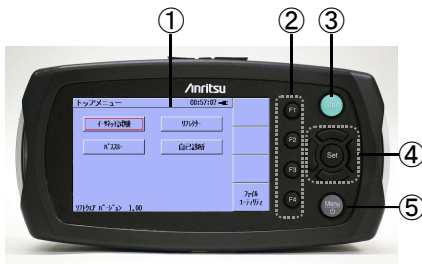
第 4 版

本書に記載以外の各種注意事項は、
『ネットワークマスタシリーズ MU909060A ギ
ガビットイーサネットモジュール 取扱説明書』
に記載の事項に準じますので、そちらをお
読みください。

管理番号: M-W3173AW-4.0

クイックスタート

概観



- ① LCD
- ② ソフトキー
- ③ Start キー
- ④ 矢印キーと Set キー
- ⑤ Menu/電源キー

電源とバッテリー

本ユニットには、以下の 3 つの方法で給電できます。

- **外部 AC 充電器/アダプター**

このアダプターを使用すると、AC 電源から給電したり、バッテリーパックを充電したりできます。

- **外部のカープラグコード/アダプター
(オプション)**

- **充電式 Ni-MH バッテリーパック**

取り付けると、本ユニットはこのバッテリーから給電されます。

- **交換可能な電池**

本ユニットは、単 3 の Ni-MH 電池 4 本で給電できます。

パネルキー

F1

LCD の右側にソフトキーが 4 つ (F1~F4) あります。各キーの機能は、現在の動作モードに応じて決まり、該当するキーの左側の画面に表示されます。

F2

F3

F4

Start

押すと、テストが開始されます。



左矢印キー

カーソルが左に移動します

右矢印キー

カーソルが右に移動します

上矢印キー

カーソルが上に移動します

下矢印キー

カーソルが下に移動します

Set キー

ハイライト表示された項目が選択されます



ユニットの電源がオフの場合:
Menu/電源キーを押すと、ユニット
の電源がオンになります。

ユニットの電源がオンの場合:
Menu/電源キーを押します。
ポップアップメニューから [電源
オフ] を選択できます。

背面パネル



- ① バッテリー収納部
- ② 留め具
- ③ モジュールのモデル/製造番号ラベル
- ④ コンプライアンスラベルと警告ラベル

全般的な操作

電源のオン/オフ

電源をオンにするには

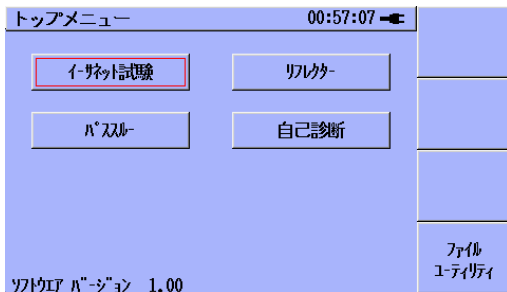
- Menu/電源キーを押します。
- [トップメニュー] が表示されます。

電源をオフにするには

- Menu/電源キーを押してポップアップメニューを表示します。
- [電源オフ] をハイライト表示し、Set キーを押します。
- [はい] をハイライト表示し、Set キーを押します。

アプリケーションの選択

[トップメニュー] で左/右/上/下の矢印キーを使用してアプリケーションをハイライト表示し、Setキーを押します。



アプリケーションの基本画面

アプリケーションでは、画面の右側にあるソフトキーを介して3つの基本画面を使用します。

ステータス

[ステータス]

ハードウェア、接続、およびトラフィックのステータスが表示されます

設定

[設定]

インタフェース、テストオートメータ、および各テストの設定を行います

結果

[結果]

テストの進捗および各テスト結果の概要が表示されます

保存と読み込み

設定を保存するには

- Menu/電源キーを押し, [保存] を選択します。
- 上/下/Set キーを使って, フォルダを選択します。
- F1 を押して, 保存を実行します。

設定ファイル/結果ファイルを読み込むには

- Menu/電源キーを押し, [読み込み] を選択します。
- 上/下/Set キーを使って, フォルダとファイルを選択します。
- 設定ファイルを読み込むには F1 を, 結果ファイルを読み込むには F2 を押します。

アプリケーション

以下の 3 つのアプリケーションを選択できます。

イーサネット試験

これは高度なテストアプリケーションであり、さまざまなタイプのトラフィックを生成してフローを監視したり、各種のエラーおよびアラームをシミュレートしたりすることもできます。

リフレクター

すべてのユニキャストフレームがネットワークに返送されます。データを送信してその返送状況を監視することができます。

パススルー

すべてのデータをポート間で渡し、データを監視したり、データパスに挿入したりできます。

ファームウェアの更新

アプリケーションソフトウェアの更新は、当社の最新ファームウェアをアップロードすることにより行います。ファームウェアファイルの拡張子は BBM です。

ファームウェアを更新する手順は、以下のとおりです。

1. 当社からリリースされた BBM ファイルを USB フラッシュドライブ(バージョン 1.1 以降)にコピーします。
2. USB フラッシュドライブを本器の USB (A タイプ)ポートに差し込みます。
3. F1 キーを押したまま、本器の電源をオンにします(Menu/電源キーを押します)。
4. Anritsu スプラッシュ画面が表示されたら、Menu/電源キーを放します。ただし、F1 キーは、最初の [Firmware

Update] 画面が表示されるまで押したままにしておきます。

注

USB フラッシュドライブに BBM ファイルが複数保存されている場合は、最初の [Firmware Update] 画面の前に [Choose Update File] ダイアログが表示されます。適切な BBM ファイルを選択(ハイライト表示)し、Set キーを押して操作を続けます。

5. [Finding Update File] というテキストが [Extracting Update File] に変わります。アップデートファイルの復元が完了すると、[Installing New Firmware] 画面が表示されます。

6. 必要に応じて [Re-Install Controller] を選択すれば、コントローラーを再インストールすることができます。ただし、これが有効なのは、現在インストールされているコントローラーのバージョンとBBMアップデートファイル内のバージョンが同じ場合だけです。
7. 必要に応じて [Format Drives During Installation] チェックボックスをオンにすると、インストール時に内部ユーザドライブを再フォーマットすることができます。
8. Set キーを押して、操作を続けます。最初の [Installing Update] 画面が表示されます。
9. インストールが完了すると、[Finish] ボタンが表示されます。Set キーを押すと、ファームウェアバージョンのアップグレードが終了します。

起動と終了

起動: Menu/電源キーを押して起動します。

終了: Menu/電源キーを押します。

- 選択オプションが出てきますので、上下左右キーで電源オフを選択し、Setキーを押します。



- 確認メニューが出ますので、[OK]を押します。



4つの動作モード

MT9090Aを起動すると、トップメニューに4つの動作モードが表示されます。

- イーサネット試験
- リフレクター
- パススルー
- 自己診断

行う試験を選択して起動します。

トップメニューに戻るときは、Menu/電源キーから、トップメニューを選択します。

トップメニュー		17:41:15
イーサネット試験	リフレクター	
パルス	自己診断	
		自動起動
		ファイル機能
ソフトウェア バージョン 3.01		

ステータス		On Off	18:49:24
基本	ETH	IP	ステータス
ホット  未接			設定
回線状況 エラー率 MDI/MDIX リンク時間 送信フレーム数 受信フレーム数			結果
テストポート 設定保存 読み込み ファイル機能 画面の保存 トップメニュー 電源オフ			

イーサネット試験

ステータスで、ネットワークの状態を見ることができます。

テストオートメータで、各種のテストを連続して実行できます。

ジェネレータ

イーサネットフレームを発生、受信して、パフォーマンスを表示します。

Ping

宛先までの通信可能性と往復時間を表示します。

ケーブルテスト

CAT5/CAT5Eケーブルのチェック、およびオープン/ショートを検出をします。

RFC2544 (オプション)

スループット、レイテンシ、バーストを
試験します。

BERT

ペイロードの中に試験パターンを埋
め込み、そのビット誤り率を試験しま
す。

HTTP/FTPダウンロード

HTTP/FTPでのダウンロードパ
フォーマンスを試験します。

トレースルート

宛先までのネットワーク経路を表示
します。

Y.1564 (オプション)

ITU-T Y.1564で定められた試験を
実行します。

リフレクター

ネットワーク越しにループバック試験を行うときに、遠端側に設置して使用します。

受信したフレームの送信元アドレスと宛先アドレスを入れ替えて発信することができます。

パススルー

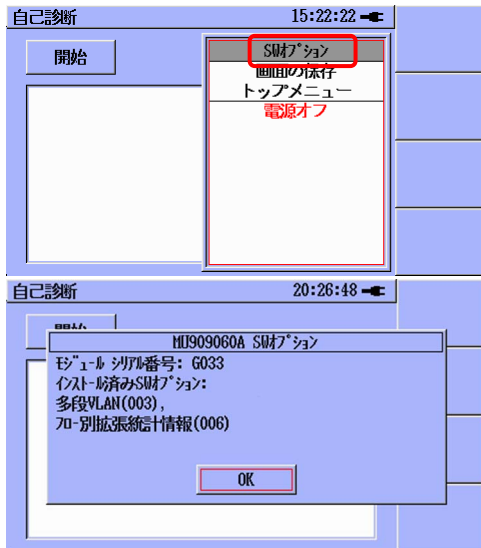
ネットワークの間に入れて、流れているフレームのパフォーマンスを確認できます。

新しくネットワークを増設するとき等に、ブロードキャストストームをすぐに見つけることができます。

自己診断

MT9090Aを自己診断します。

Menu/電源キーを押してメニューを表示させ、SWオプションを選択すると、そのMT9090Aのシリアル番号、インストールされているソフトウェアオプション一覧を表示できます。



初期設定

トップメニューから、設定変更を選択します。

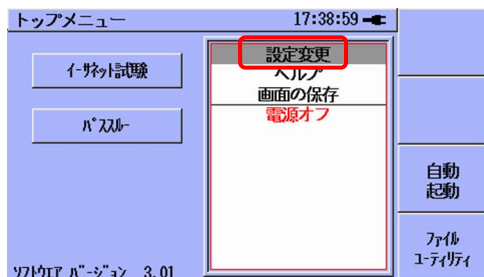
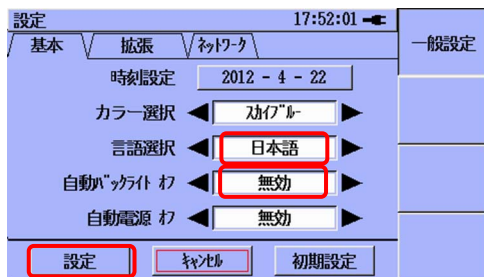
下記設定をお勧めします。

言語選択: 日本語

自動バックライト オフ: 無効

設定後、設定を選択してSetを押します。

ファームウェアをアップデートしたとき、設定は英語で表記されますが、設定する位置は同じです。



イーサネット試験

MT9090Aには、試験結果を保存し忘れるのを防ぐため、試験終了後の、結果自動保存機能があります。

自動保存では、設定したすべてのパラメータを保存するため、時間がかかります。トラブルシュートのときには、何度も試験を行い、毎回結果を保存することはありませんので、自動保存機能をOFFにします。

自動保存をOFFにするには、

イーサネット試験を選択

[F2 設定] を選択

[共通設定] を選択

[自動保存モード] を [OFF] に設定

[戻る] で、イーサネット試験に戻る

トップメニュー		17:41:15
イーサネット試験	リフレクター	
パルス	自己診断	
		自動起動
		ファイルユーティリティ
ソフトウェアバージョン 3.01		
ステータス On Off 13:18:42		ステータス
基本	ETH	IP
インターフェース ポート 未接続 OFF テストモード 共通設定		設定
回線状況 エラーフレーム率 MDI/MDIX リンク時間 送信フレーム数 受信フレーム数		結果
共通設定 100Mbps Off 14:54:10		戻る
判定再開時間 3 秒		
動作ハット操作 ☒ フルで上書き ☐ フルで停止		
自動保存モード ☐ ON ☒ OFF		

基本設定

ポート選択

設定 / インタフェースで、使用するポートを Set で選択します。

選択したポートのライトは緑色になります。

選択したポートが A か B かを確認します。

13:18:42

On Off

基本

ETH

IP

インターフェイス

テストオートメタ

共通設定

ポート

未接続

OFF

設定

結果

回線状況		
エラーフレーム率		
MDI/MDIX	N/A	N/A
リンク時間	N/A	N/A
送信フレーム数	0	0
受信フレーム数	0	0

13:18:56

On Off

全般

フィルタ

拡張

ポート

MAC

VLAN

種類

ポート割当設定

リンク許可

1000Mbps クロック

フロー制御

RJ-45

ON

FDX 10 100 1000

HDX 10 100

自動

☒ ポートフレーム応答

戻る

次のページへ

ポート A

選択されたポートの
ライトは緑色になり
ます。

選択したポートが
AかBかを確認しま
す。

送受信アドレス設定

宛先アドレス: 設定 / テストオートメータ / 各テスト内の宛先

テストオートメータの項目毎に、異なった宛先アドレスを設定することも可能です。

送受信		On Off 13:18:42	送受信	
基本	ETH	IP		インターフェース
ポート				テストオートメータ
未接続				共通設定
回線状況			結果	
エラーフレーム率				
MDI/MDIX				
リンク時間				
送信フレーム数				
受信フレーム数				

インターフェース		On Off 13:19:01	戻る
全般	フィルタ	拡張	
ポート	MAC	VLAN	次のタブへ
送信元MACアドレス			
00-00-91-01-04-03			ポート A

インターフェイス On Off 13:19:12

全般 **フィルタ** 拡張

ポート MAC VLAN

	TPID	PRI	CFI	VID
+ VLAN 1	0x8100	0	☐	0
+ VLAN 2	0x8100	0	☐	0
+ VLAN 3	0x8100	0	☐	0

戻る

次のタブへ

ポート A

インターフェイス On Off 13:19:21

全般 **フィルタ** 拡張

LLC1 SNAP **IPv4**

送信元IPアドレス 0.1.0.1

DHCP ☐ DHCP使用 設定

DNS DNSサーバ 設定

ゲートウェイ ☐ ゲートウェイ使用 設定

DSCP/TOS 0x00

MF ☐ More Fragment

戻る

次のタブへ

ポート A

マルチストリーム付きオプションの場合、ストリーム番号が表示されます。

宛先アドレス

宛先アドレス: 設定 / テストオートメータ / 各テスト内の宛先

テストオートメータの項目毎に、異なった宛先アドレスを設定することも可能です。

ステータス		13:18:42	戻る
基本	ETH	IP	インターフェース
ポート			テストオートメータ
未接続			共通設定
OFF			設定
回線状況			結果
エラーフレーム率			
MDI/MDIX			
リンク時間			
送信フレーム数			
受信フレーム数			

ジェネレータ 1		13:22:23	戻る
エント	モード/期間	リセット	
ストリーミングID設定			
接続形態			
インターフェース			

テストオートメータ On Off 13:21:53		ステータス 設定 結果
テストスケジュール		
<div> <div>  × </div> <div> ↑ </div> </div> ジェネレータ 1 テストの追加		
<div></div>		

ジェネレータ 1 On Off 13:22:58		戻る
<div> <div>ラインポート</div> <div>サイズ</div> <div>宛先</div> </div>		
<div> <div>MAC</div> <div> 宛先MACアドレス <input type="text" value="00-00-91-01-02-03"/> </div> <div> ☒ ARP使用 <div> <input type="text" value="ポートキャスト OFF"/> </div> </div> </div>		エラー/アラーム
<div> <div>IP</div> <div> 宛先IPアドレス <input type="text" value="0.0.0.1"/> </div> <div> ☐ DNS使用 <div></div> </div> </div>		ポート A

イーサネット試験/ステータス

リンク状態、光パワーなどを表示します。

ステータス				   19:52:15 		ステータス		
基本				ETH	IP		SFP	設定
				ホ-ト A			ホ-ト B	
								
				100 BASE-T FDX		1000BASE-LX		結果
回線状況								
エラー率								
MDI/MDIX				MDI		N/A		
リンク時間				0:03:10		0:06:32		
送信フレーム数				6.46 M		75.0 M		
受信フレーム数				6.46 M		75.0 M		

ステータス				   19:52:34 		ステータス		
基本				ETH	IP		SFP	設定
				ホ-ト A			ホ-ト B	
リンクパラメータ								結果
オートネゴネーション								
ポートキャパブル								
アサメリクホ-スリクエスト								
リネートフォルト								
クロック				N/A		N/A		
FDX リンク速度				10 100 1000		10 100 1000		
HDX リンク速度				10 100		10 100		

ステータス				  100%  100% 19:52:40		ステータス			
基本		ETH		IP			SFP		設定
IP/DHCP情報									
ポート A IPv4	IPアドレス		0.0.0.1		A	結果			
	ゲートウェイ		0.0.0.0						
	サブネットマスク		0.0.0.0						
	プライマリDNSサーバ		0.0.0.0			ストリーマ 1			
	セカンダリDNSサーバ		0.0.0.0						
	更新日時		N/A						
有効日時		N/A		B	ストリーマ 1				
ポート B	IPアドレス		192.168.200.206						
	ゲートウェイ		0.0.0.0						
	サブネットマスク		0.0.0.0						
	プライマリDNSサーバ		0.0.0.0						
	セカンダリDNSサーバ		0.0.0.0						

ステータス				 100Mbps 1000Mbps 19:52:44 		ステータス
基本		ETH	IP	SFP		
		ポート A		ポート B		設定
装着						
ベンダー名		AGILENT				
波長		N/A				結果
ビットレート(nominal)		1200 Mbps				
エンプライアンス		1000BASE-LX				
リンクス, 9um SM		10 km				
リンクス, 50um MM		550 m				
リンクス, 63um MM		550 m				
リンクス, カップ -		N/A				
出力パワー		N/A				
入力パワー		N/A				



アンリツ株式会社

管理番号：

M-W3173AW-4.0

中ページは再生紙を使用しています

Printed in Japan